

株 主 の 皆 様 へ

FUJI NIHON SEITO CORPORATION



第89期 事業報告書

2011年4月1日から2012年3月31日まで 証券コード：2114

 フジ日本精糖株式会社



代表取締役社長
船越 義和

代表取締役会長
江口 達夫

株主の皆様におかれましては、平素よりご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに第89期の事業報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

昨年は当社の合併10周年を迎えた区切りの年でしたが、連結業績では売上高は前年並みとなったものの、当社の主力である精糖事業における販売数量減や製造コスト高の影響もあり、利益面では大幅な減益となってしまいました。砂糖の国内マーケットは、調製品や代替甘味料に押され微減傾向が続いておりますが、その中でも販売強化を図り、主力事業の維持拡大を目指す所存であります。

一方で昨年末には、国内での販売が急増しているイヌリンの新工場をタイ国に建設することを決断いたしました。現状の清水工場では設備拡張にも限界があり、原料である砂糖が安価に入手可能であり、製造コストも格段に安いタイ国での生産を進め、世界で唯一当社が持っている技術による、砂糖から作るイヌリンを日本、東南アジアを始めとして世界のマーケットに販売していく計画であります。

さて、私儀は6期6年の間社長を務めさせて頂きましたが、2012年6月15日の定時株主総会終了後の取締役会において会長に就任し、船越専務が社長に就任いたしました。社長在任中におきましては、砂糖プラスアルファでの事業拡張を目指してまいりましたが、精糖事業に次ぐ柱となる事業を育て上げるには、もう少し時間がかかりそうで、イヌリン事業を推進してきた新社長に託したいと思います。

株主の皆様におかれましては、引き続き新社長へのご支援を賜りたく、宜しくお願い申し上げます。

2012年 6月

代表取締役会長 江口 達夫

強みを活かして新たな成長性を確保し、
将来への変革を成し遂げてまいります。



代表取締役社長 船越 義和

風、そして新たな成長の核となる機能性事業関連の特許、という強みがあります。これらを活かし、全社員が力を合わせて、将来への変革を成し遂げてまいります。

Q 当期（2012年3月期）の
営業状況はいかがでしたか？

A 震災によるユーザーの
操業停止や需要減少などを受け、
売上はほぼ横ばいにとどまり、減益となりました。

この1年間の海外粗糖価格は、前期のような高騰には至りませんでした。最高値では1ポンド31.34セントとなり、高水準で推移しました。精糖事業では、東日本大震災の影響による供給不安の中、生産量の維持と安定供給に努めましたが、震災によるユーザーの操業停止や菓子類・調味料関係の需要減少などを受け、販売数量は前期を下回りました。

機能性素材事業では、大手食品メーカーの食用油脂製品に採用された「イヌリン」が大きく販売を伸ばし、今年1月に清水工場の生産増強を実施する状況となりましたが、切花活力剤や子会社のユニテックフーズ株式会社におけるOEM関連販売は、低調に推移しました。なお、当期は、機能性素材の販売拡大に向けたアプリケーションを創出すべく、市場開発室を新設しました。すでにメーカーさんへの具体的な提案を開始しています。

以上の結果、当期の連結業績は、売上高においてほぼ横ばいとなり、利益面では減益となりました。

Q はじめに、新社長就任の抱負と、
今後の経営についての考えをお聞かせください。

A 収益の多様化と精糖事業における営業強化、
そして海外展開による成長性の確保を
推進します。

これまで専務取締役として経営に携わってまいりましたが、代表取締役社長を拝命し、「企業の存続を確実なものとするのが経営者に課せられた最大の責務である」と受け止め、尽力していく所存です。今後の具体的な経営方針として、

①収益の多様化、②主力の精糖事業における営業強化、③海外展開による成長性の確保、の3つを推進し、企業理念に掲げた「夢のあるたくましい会社」を実現していく考えです。当社には、堅牢な財務基盤とおだやかで一体感のある社

Q タイにおける合併会社設立と、海外事業展開についてご説明願います。

A 年間6,500トンの生産量を確保。アジア市場における「イヌリン」の需要拡大を捉えています。

昨年12月、当社はタイ国における「イヌリン」の製造販売を開始すべく、バンコクに合併会社Fuji Nihon Thai Inulin Co.,Ltd.設立を決定しました。合併相手先は現地企業2社で、当社は55%を出資します。同国ラチャブリ県に「イヌリン」生産工場を建設し、2013年11月に稼働を開始する予定です。

当社における「イヌリン」生産は、前述の通り今年1月に清水工場を増強し、年間1,000トンの生産能力を確保しているものの、今後の需要拡大に対して不十分な状況にあります。一方で国内制度上、原料である砂糖の供給が制限される中で、主力の精糖事業とのバランスから「イヌリン」の生産量は限定的なものとならざるを得ませんでした。加えて、「イ

ヌリン」生産の副産物であるグルコース液の処理方法についても課題となっております。

タイ合併会社による「イヌリン」生産工場の稼働は、こうした問題を一気に解決するものです。タイ工場では、年間6,500トンの生産量を確保し、うち3,000トン日本国内の需要拡大に充て、残りについてはタイ国および周辺国で販売を行っていく計画です。

また、合併相手先2社のうち、Thai Fermentation Industry Co.,Ltd.は、現地でグルタミン酸ナトリウムの製造販売を展開しており、「イヌリン」工場からの副産物を原料として有効活用できるベストな協業先であると考えています。

現在、アジア地域では、生活水準の向上に伴い食物繊維としての「イヌリン」の需要が急拡大しています。従来はチコリを原料とするヨーロッパ産の「イヌリン」が輸入消費されてきましたが、チコリを原料とする「イヌリン」に比べ当社が特許を持つ砂糖から作る「イヌリン」は味・品質、および食品加工適性に優れており、今後、アジア市場を大いに開拓

していけるものと期待しています。そして将来的には、米国・欧州への展開も視野に入れていきます。

Q 次期（2013年3月期）の見通しをお聞かせください。

A 次の飛躍に向けた基礎固めの1年として、営業力強化を図り、海外展開スタートの準備を進めます。

機能性素材事業については、「イヌリン」の拡販およびユニテックフーズ株式会社におけるペクチン等の拡販に注力することで、増収増益が見込まれるものの、精糖事業の方では、製品出荷価格の下落と電力料金値上げ等により、減収減益を予想しています。このため、連結業績全体では、増収ながら減益となる見込みです。

当社では、次の飛躍に向けた基礎固めの1年と位置付け、営業力の強化を図りつつ、タイ工場の稼働による海外展開のスタートを果たすべく、準備を進めていきます。

Q 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

A グローバルな市場を舞台に、小さくても特長と存在感のある企業としての発展を目指します。

株主の皆様への利益還元につきましては、安定配当の実施を基本とした上で、DOE（株主資本配当比率）3%を目指しています。今回の期末配当は、この方針に基づき、1株当たり10円（前期は記念配当2円を含む12円）とさせていただきます。次期の期末配当は、同9円を予定しております。

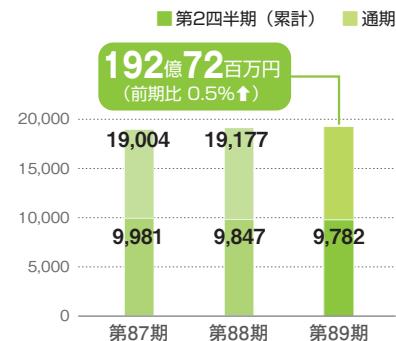
少子高齢化により縮小し続ける国内市場のみに依存しているのは、持続的な成長は望めません。困難は伴いますが、当社はグローバルな市場を舞台に、小さくても特長と存在感のある企業としての発展を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

連結業績ハイライト

CONSOLIDATED FINANCIAL HIGHLIGHTS

売上高 単位：百万円



営業利益 単位：百万円



経常利益 単位：百万円



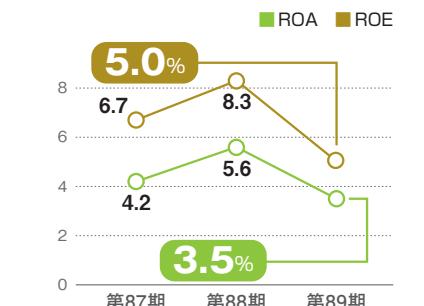
当期純利益 単位：百万円



1株当たり当期純利益 単位：円



総資産利益率 (ROA) 自己資本利益率 (ROE) 単位：%





精糖事業

事業内容：精製糖、砂糖関連製品の製造販売を行っております。

当期の概況

売上高：13,068百万円
営業利益：1,192百万円

精糖事業につきましては、海外原糖市況は、期初ニューヨーク市場先物相場27.44セント（1ポンド当たり）で始まりましたが、インドやタイでの増産見込みで供給が緩和されるとの見通しから値を下げ、5月に当期最安値20.47セントを記録しました。その後、天候不順によるブラジルでの生産減少見込みや中国の輸入量増加観測から相場は上昇に転じ、7月下旬には当期最高値の31.34セントを付けました。しかし、その後の欧州・ロシアの増産による需給緩和や欧州金融不安による投機資金の流出等により再び値を下げ、低調な値動きで24.71セントにて期末を迎えました。

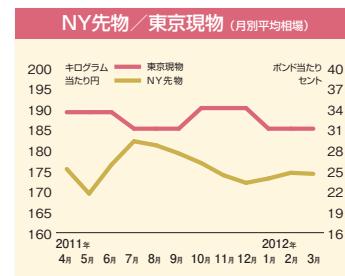
ニューヨーク市場先物相場（セント/ポンド当たり）の動き

期初	高値	安値	期末	平均
27.44	31.34	20.47	24.71	25.63

国内製品市況は、期初東京現物相場190円（上白大袋1キログラム当たり）で始まりましたが、海外原糖相場の下落を受けて7月に製品出荷価格を4円下げ、その後、海外原糖相場の騰落に伴い10月に5円上昇、1月に5円の引下げを行い186円で期末を迎えました。

製品の荷動きについては、東日本大震災の影響による供給不安のなか、当社は安定供給を最優先事項として、原料糖の確保や連続操業による生産量の維持に取り組みましたが、震災によるユーザーの操業停止や菓子類・調味料関係の需要が減少したこと、また、特約店・地方二次店経由の販売の漸減傾向が続き、販売数量は前期を下回る結果となりました。

以上の結果、精糖事業の売上高は13,068百万円（前年同期比0.5%増）、販売数量減少による固定費負担の増加等によるコスト上昇により営業利益は1,192百万円（同27.5%減）となりました。



機能性素材事業

事業内容：機能性食品素材、食品添加物、切花活力剤等の製造販売、果実加工原料の販売を行っております。

当期の概況

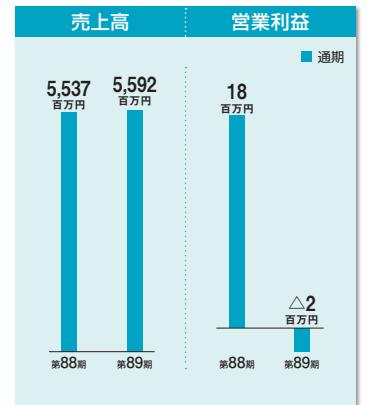
売上高：5,592百万円
営業損失：2百万円

機能性素材事業につきましては、機能性食品部門では引き続きイヌリンの脂肪代替機能を活かした採用商品が順調であったこと、需要の裾野が徐々に拡大傾向にあることなどから売上数量は前期比で大きく伸びました。これに対応して1月に製造能力の増強を実施するとともに、将来の事業拡張を見据えて、タイ国にて合併事業による生産工場建設を決定いたしました。

切花活力剤部門では、有力顧客の多い東北地区の震災被害の直接的な影響と花卉類の需要減退という間接的な影響を受け、売上数量は前期を下回りました。

連結子会社であるユニテックフーズ株式会社においては、ゼラチン等の天然添加物の拡販による増収はあったものの、OEM関連の販売が東日本大震災の影響により大幅に減少し、売上高は前期比で減少いたしました。

これらの結果、機能性素材事業の売上高は、5,592百万円（前年同期比1.0%増）となったものの、営業損失2百万円（前年同期営業利益18百万円）となりました。



不動産事業

事業内容：当社が所有する土地建物の賃貸およびその他不動産関連事業を行っております。

当期の概況

売上高：611百万円
営業利益：527百万円

不動産事業につきましては、自社所有物件の賃貸により、安定収益の確保には貢献したものの、本社ビルの一部が空室のまま推移したため、減収減益となりました。

この結果、不動産事業の売上高は、611百万円（前年同期比3.4%減）、営業利益527百万円（同3.4%減）となりました。

● 資産の推移 (単位：百万円)



● 負債・純資産の推移 (単位：百万円)



● 自己資本比率 (単位：%)



連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)

科目	当期 2012年3月31日現在	前期 2011年3月31日現在
資産の部		
流動資産	8,201	7,215
固定資産	10,399	10,628
有形固定資産	3,037	2,969
無形固定資産	1,011	1,069
投資その他の資産	6,350	6,589
資産合計	18,601	17,844
負債の部		
流動負債	3,690	3,593
固定負債	1,976	1,824
負債合計	5,667	5,418
純資産の部		
株主資本	12,549	12,242
資本金	1,524	1,524
資本剰余金	2,524	2,524
利益剰余金	9,241	8,926
自己株式	△ 740	△ 732
その他の包括利益累計額	384	183
純資産合計	12,934	12,425
負債・純資産合計	18,601	17,844

(注) 百万円未満は切り捨てて表示しております。

自己資本比率について

自己資本比率とは、自己資本（その他の包括利益累計額含む）を総資産で除した数値で、財務の安定性を測る指標の一つです。自己資本は総資産における比率が高いほど財務の安定性が高いとされています。当社の自己資本比率は69.5%であり、財務内容が非常に安定していることがわかりいただけます。

連結損益計算書(要旨)

(単位：百万円)

科目	当期 2011年4月1日から 2012年3月31日まで	前期 2010年4月1日から 2011年3月31日まで
売上高	19,272	19,177
売上原価	15,088	14,474
売上総利益	4,184	4,702
販売費及び一般管理費	3,159	3,217
営業利益	1,024	1,485
営業外収益	188	195
営業外費用	66	66
経常利益	1,146	1,614
特別利益	22	1
特別損失	77	72
税金等調整前当期純利益	1,091	1,543
法人税、住民税及び事業税	358	489
法人税等調整額	95	47
少数株主損益調整前当期純利益	636	1,006
当期純利益	636	1,006

(注) 百万円未満は切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：百万円)

科目	当期 2011年4月1日から 2012年3月31日まで	前期 2010年4月1日から 2011年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	849	249
投資活動による キャッシュ・フロー	△399	△537
財務活動による キャッシュ・フロー	△467	△563
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△0	△7
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△17	△859
現金及び現金同等物の 期首残高	1,895	2,754
現金及び現金同等物の 期末残高	1,878	1,895

(注) 百万円未満は切り捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書 (2011年4月1日から2012年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株主資本				その他の包括利益累計額			純資産 合計	
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益		その他の包括利益 累計額合計
2011年4月1日残高	1,524	2,524	8,926	△ 732	12,242	186	△ 3	183	12,425
連結会計年度中の変動額									
剰余金の配当			△ 321		△ 321				△ 321
当期純利益			636		636				636
自己株式の取得				△ 8	△ 8				△ 8
自己株式の処分		0		0	0				0
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)						198	2	201	201
連結会計年度中の変動額合計	—	0	315	△ 8	307	198	2	201	508
2012年3月31日残高	1,524	2,524	9,241	△ 740	12,549	385	△ 1	384	12,934

(注) 百万円未満は切り捨てて表示しております。

会社概要

商号	フジ日本精糖株式会社
英文名	Fuji Nihon Seito Corporation
設立	1949年(昭和24年)7月
資本金	1,524百万円
従業員数	68名
本社所在地	〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町一丁目4番9号 電話 03(3667)7811(代表)
清水工場	〒424-0924 静岡県静岡市清水区清開一丁目4番10号 電話 054(334)5353(代表)
横浜共同生産工場	太平洋製糖株式会社 〒230-0053 神奈川県横浜市鶴見区大黒町13番46号 電話 045(501)0511(代表)
子会社	協立食品株式会社 ユニテックフーズ株式会社
関連会社	太平洋製糖株式会社 南米糖業株式会社 マ・マーマカロニ株式会社

役員 (2012年6月15日現在)

代表取締役会長	江口 達夫
代表取締役社長	船越 義和
代表取締役副社長	佐藤 伸郎
取締役常務執行役員	高梨 繁憲
取締役常務執行役員	渡辺 修司
取締役	武田 浩文
取締役	村上 光廣
常勤監査役	高橋 宏寿
監査役	上平 徹
監査役	永井 康裕
監査役	内藤 健雄

執行役員

執行役員	櫻田 礎久
執行役員	福田 弘
執行役員	梶原 久雄
執行役員	佐塚 真弘
執行役員	山崎 伸夫
執行役員	小島 康克
執行役員	大口 真央

監査法人

会計監査人 有限責任監査法人トーマツ

株式の状況

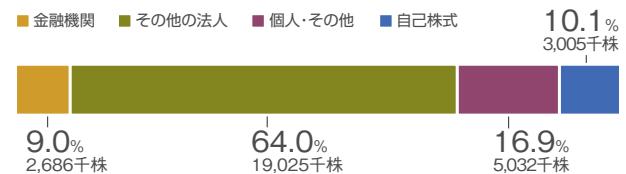
発行可能株式総数	110,000,000株
発行済株式の総数	29,748,200株
株主総数	2,694名

大株主

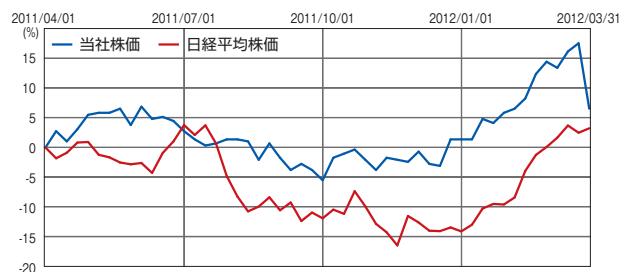
株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	出資比率(%)
双日(株)	8,153	30.5
豊田通商(株)	2,459	9.2
鈴与(株)	1,402	5.3
和田製糖(株)	1,226	4.6
野村信託銀行(株)(信託口)	933	3.5
(株)静岡銀行	792	3.0
(株)榎本武平商店	558	2.1
新潟県砂糖卸荷受商業協同組合	500	1.9
東京海上日動火災保険(株)	447	1.7
小倉運輸(有)	440	1.7

(注) 出資比率は自己株式(3,005千株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



比較チャート (2011年4月1日を基準日とした当社株価と日経平均株価の騰落率)



トピックス

Topics

1970年に発売以来、全国のお花屋さん・お花を愛する方々に大好評頂いております。
「キープ・フラワー」は国内認知度NO.1ブランドのロングセラー商品です。

- ① 10ml(4ヶ入)：花瓶の水500mlに1袋(10ml)を薄めるだけの簡単なお手軽サイズ。
- ② 家庭用200ml：ご家庭用の定番サイズ。今一番人気のある商品です。
- ③ お徳用2ℓ：暮らしにお花が欠かせない！そんな方にぴったりのお得なプロ用サイズ。

「キープ・フラワー」を花瓶の水に薄めるだけで、

- その1 お花が大きく咲き、葉も生き生きと長持ちします。
- その2 水では咲かないつぼみもどんどん咲かせます。
- その3 水が腐りにくくなり、面倒な水替えの手間が省けます。



- ➡ お花が長持ちしない夏季はもちろんのこと、キープ・フラワーがあれば四季を通じてお花を楽しめます！ホームページにて、商品の詳細やキープ・フラワーの切花効果などを紹介しています。是非ご覧下さい。

レシピ

和彩糖を使ったおいしいレシピ

Recipe

鶏手羽中の鍋照り

材料(2人分)



鶏手羽中	10~12本
こしょう	少々
しょうゆ	小さじ2
〈味付け用〉	
和彩糖	大さじ3
酒	大さじ1.5
しょうゆ	大さじ1.5
白ごま	大さじ2

- ① 手羽中にしょうゆ小さじ2、こしょう少々をふり、少しなじませる。
- ② 180℃の油で①を色よく揚げて火を通す。
- ③ 別の鍋に〈味付け用〉の調味料を入れ、火にかけ熱くなったら②の手羽中を加え、煮からめる。
- ④ ③に白ごまを加え、更に混ぜ合わせる。
- ⑤ 照りが全体についたら皿に盛る。

和彩糖ゼリー

材料(2人分)



粉寒天	1.5g
水	175g
和彩糖	30g
甘納豆(大納言)	10粒

- ① 小さめの鍋に水を175g、粉寒天を1.5g入れ、火にかけ沸騰させる。
- ② 粉寒天が完全に溶けたら火からはずし、和彩糖を加え全体をしっかりと混ぜ、1人分ずつ器に流し入れる。
- ③ ②を氷水で冷やし、少し固まりかけたら甘納豆(大納言)を5粒ずつ器に入れ、再び冷蔵庫でしっかりと固める。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月開催
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場取引所	東京証券取引所
公告方法	当社のホームページに掲載いたします。 公告掲載 URL http://www.fnsugar.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

【お知らせ】

- (1) 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてもお取次ぎいたします。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

● 表紙の写真について

表紙の写真は、当社「写真同好会」の西野 恭一が撮影した作品です。

撮影地
— 静岡県 清水港 —



「夜明けの情景」

株主優待制度のご案内

3月31日現在、当社株式1単元（1,000株）以上ご所有の株主の皆様へ、3,000円相当の当社商品詰合せを7月に贈呈いたします。



※株主優待品の一例。

ホームページのご案内

当社ホームページでは、IR情報や商品情報など様々な情報をご覧いただけます。また、ネットショッピングもお楽しみいただけます。



フジ日本精糖

検索

<http://www.fnsugar.co.jp/>